



# 水 土 里 ネット ちば

2019  
平成31年

No.321 冬号  
(新年号)



第24回美しい農村環境写真コンテスト 佳作「白銀の朝」 撮影場所：成田市 撮影者：新田 幸雄

## CONTENTS 口絵：～海と緑と人がともに歩むまち～ 勝浦市へようこそ!!

### 新年の挨拶

- ・水土里ネット千葉 会長 林 和雄 ..... 01
- ・全国水土里ネット 会長 二階 俊博 ..... 02
- ・参議院議員 進藤 金日子 ..... 03
- ・全国水土里ネット会長会議顧問 宮崎 まさお ..... 04
- 「農業農村整備の集い」開催される ..... 05  
～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～
- 農業事務所だより ..... 06  
・夷隅農業事務所

- ・安房農業事務所 ..... 08
- ・君津農業事務所 ..... 10
- 年男・年女あつまれ ..... 12
- 「明治150年記念植樹祭」に参加しました ..... 14  
～緑の募金直接事業～
- 耕作放棄地を刈払って農地からイノシシを追い払おう ..... 15
- 第22回千葉の水回廊ウォーク& ..... 16  
疏水百選 印旛沼ウォークのご案内



～海と緑と人がともに歩むまち～

# 勝浦市へようこそ!!

千葉県南東部に位置する勝浦市は、丘陵性山地と太平洋に面したリアス式海岸が美しい自然景観を織り成す街です。黒潮の影響により、温暖な気候に恵まれ、古くから別荘地、避暑地としても人気があります。

勝浦市の「朝市」は、農水産物の交換の場として始まり、天正の時代から400年以上続く「朝市」は、市を代表する名所として今も変わらず多くの方に親しまれています。

また、代表的なイベントとして市内各所におよそ30,000体のひな人形が飾られ、街中がひな祭り一色となる「かつうらビッグひな祭り」が毎年2月下旬から10日間ほどの日程で開催されます。中でも、1,800体の人形が飾り付けられ、夕暮れからはライトアップも行われる遠見岬神社石段飾りや、高さおよそ120cmの日本最大級の享保ひな15体を飾り、800席の大ホールをひな人形とみさきで埋めつくす芸術文化交流センターキュステ(Küste)会場はまさに圧巻の一言です。



朝市では季節の野菜や魚などのほか、花や加工品なども売られている。開催時間は6時から11時。定休日は毎週水曜日。



- ① Küsteホール。館内全体ではおよそ8,000体のひな人形が飾られる。
- ② 遠見岬神社石段飾り。毎日、地域の方々により飾りつけ、片付けが行われている。

## 2019 かつうらビッグひな祭り

期間：2月22日(金)～3月3日(日)

会場：勝浦市芸術文化交流センター、  
勝浦中央商店街ほか市内各所

時間：会場により異なる



夷隅農業事務所(写真提供:勝浦市)



# 年頭あいさつ

水土里ネット千葉  
(千葉県土地改良事業団体連合会)

会長 林 和雄



新年あけましておめでとうございます。

日頃は、水土里ネット千葉の運営に対しまして会員の皆様はじめ関係各位の温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、西日本豪雨や北海道胆振東部地震をはじめとする地震、台風、さらには記録的猛暑など、全国各地で自然災害が相次ぎました。被災された方々にお見舞いを申し上げるとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を願ってやみません。また、被災地の状況をお聞きするたびに、防災・減災対策は常に念頭に置いておかなければならないと思っております。

土地改良は、先人が創り上げてきた農地やかんがい排水施設などをそれぞれの時代に応じて整備を行い、次の世代に引き継いでいくシステムです。つまり、土地改良は、現在の農業の発展はもとより、日本の「未来への礎」を築くものであります。

昨年、改正土地改良法が改正され、本年4月から施行されます。組合員資格や理事の要件、総代会制度、財務会計制度等の見直しがなされており、改良区の体制強化等を目的としたもので、土地改良区の役職員、組合員に深く関係する内容となっております。この改正に伴い土地改良区を支援するメニューの拡充が31年度予算で増額されております。複式簿記の導入や土地改良区連合の設立に向けた支援メニューの拡充のほか、水利施設等保全高度化事業において、資産評価データの整備を支援するメニューの拡充が盛り込まれております。

各土地改良区においては、既に運営基盤の強化等積極的に取り込んでいただいているところですが、今回の法改正を踏まえて、更なる体制強化に努めていただきますよう、改めてお願い申し上げます。

一方で、県内の農業水利施設の状況は、既に70%が耐用年数を過ぎており、排水機場等の基幹的施設の老朽度合いは全国ワースト1となっており、適切な対策、特に十分な予算確保が必要な状況にあります。

水土里ネット千葉は、今後も会員の皆様からの意見要望を的確にとらえて、予算の確保と事業制度の改善等、山積する課題解決に向けての、実践活動を現場主義のモットーに推進していく所存であります。

引き続きましてご理解とご協力をお願い申し上げます。会員各位のご発展とご多幸をお祈りし、新年の挨拶といたします。

# 新年にあたって

全国水土里ネット  
(全国土地改良事業団体連合会)

会長 二階 俊博



平成31年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年もまた、我が国は非常に多くの災害に見舞われました。6月には大阪北部地震が、6月下旬から7月上旬にかけては、西日本を中心に、北海道や中部地方など全国的に広い範囲で台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨が、9月には北海道胆振東部地震が、また、7月から9月にかけては五度に及び台風が我が国に上陸し、多大な被害をもたらしました。被災された方々には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧が出来ますよう、私どもとしても一体となって全力を尽くしたいと思います。

さて、私は会長に就任以来、民主党政権時代に7割近く削減された状況であった予算をまずは復活させようと、「闘う土地改良」の重要性を訴え、予算獲得に向け本気になって取り組んで参りました。全国の皆様の大きな力によって、平成31年度当初予算は、重要インフラの緊急点検等を踏まえた防災・減災、国土強靱化のための緊急対策546億円を含めて4,963億円、平成30年度の第二次補正予算1,488億円を合わせると、6,451億円となりました。ひとえに皆様方のご尽力の賜であると、心から感謝致します。

また、土地改良の代表を再び国会へ送り込むとの強い決意のもと、私たちの代表として当選された進藤かねひこ参議院議員も全国を飛び回り、元気に頑張っており、その評価は極めて高いものがあります。今後は、進藤さんの活動と連携して、更に一層「闘う土地改良」の浸透が図られるよう念じております。更には、進藤議員と車の両輪たらんとする宮崎まさお氏も、来たるべき闘いに向けて、全国の皆様の所へ伺っているところであります。

今、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されております。

このような状況の中、昨年の通常国会では改正土地改良法が成立し、土地改良にとって、二年続けて改正された新しい土地改良法を基軸に、新たな展開を図る大きな節目の年となります。

私たち土地改良担当者としては、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様へアピールし、共感を得ていく努力が必要と考えます。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思います。

最後になりますが、輝かしい年の初めに当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げます。私の新年のご挨拶といたします。

# 新年を迎えて

全国水土里ネット会長会議顧問  
参議院議員

しん どう かね ひ こ  
進 藤 金日子



新年明けましておめでとうございます。昨年は、自然災害が頻発した年でした。被災された全ての方々  
に心からお見舞い申し上げます。平成最後の年となる今年も、「平成」の由来の如く「地平天成」(地平  
らかにして天なる:国の内外、天地とも平和が達成される)の年になることを強く願いたいと思います。

さて、昨年末に平成30年度第2次補正予算と平成31年度当初予算の政府原案が閣議決定されまし  
た。土地改良予算としては、総額で6,451億円(30年度補正:1,488億円、31年度当初:4,963億円)を  
確保することができました。これもひとえに、農業改革の推進に不可欠な土地改良の実施に向けた現場  
からの強い要請と関係者の皆様の熱意を、政府と与党にしっかりと受け止めていただいた結果です。  
予算は、人任せでは確保できない、自ら汗をかき実働して確保する、まさに「闘う土地改良」の成果で  
あると言えます。この貴重な予算が一日も早く現場に届くよう、今次通常国会で早期成立に向けて努力  
してまいります。

今回の予算の特徴は、何と言っても「国土強靱化」に重点が置かれたことです。重要インフラの緊急点  
検等を踏まえた「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」  
として補正と当初を合わせて1,091億円計上され、制度的にも防災重点ため池整備等で大幅な拡充が  
なされました。また、ここ2回にわたる土地改良法の大改正を踏まえ、土地改良区の複式簿記の義務化  
等に対応した土地改良区体制強化事業が整備されるなど、現場の声に即した具体的な対応策も示され  
ました。農業競争力強化関係でも現場の実態に即した要件設定やハードとソフトの連携強化策などが盛  
り込まれています。今回の予算は、土地改良の原点である現場重視の視点が更に強化されたものとなっ  
ています。この貴重な予算を効率的、効果的に執行し、土地改良に対する国民の皆様の期待に応えてい  
くことが重要です。

千葉県は首都圏の台所を担う全国有数の農業県ですが、農業生産の基盤である土地改良区施設  
の老朽化度合いが極めて高く、早急な対策が必要と聞いています。また、新たな担い手確保のため、  
ほ場整備事業の要望地区が増加しており、自然災害に備えた防災減災事業の計画的な執行のためにも、  
当初予算の十分な確保が求められています。

往々にして課題の大きさと重さに伏し目がちになりますが、是非とも頭を上げ、目を見開き、微笑みをも  
って前に進みましょう。どんな困難も一人でなく皆で立ち向かいましょう。

皆様、ご案内のとおり私の同志である宮崎雅夫(まさお)さん(全国水土里ネット会長会議顧問)も「土地  
改良は未来への礎」を訴えて全国各地を精力的に巡回しています。宮崎さんと私が皆様と連携して  
「闘う土地改良」を共闘できるようにご指導とご支援を心からお願い申し上げます。

本年も引き続き皆様と一緒にあって諸課題の解決に向けて専心努力してまいる覚悟です。

本年が皆様にとってご家族共々素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の  
挨拶といたします。

# 「闘う土地改良」 未来への礎を築くために

全国水土里ネット会長会議  
顧問 宮崎 まさお



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、良き年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

私にとっては、いよいよ決戦の年となりました。

全国の関係者の皆様の土地改良に対する熱い思いに触発され、全国水土里ネットの二階俊博会長が提唱された「闘う土地改良」の旗のもと、不退転の覚悟で政治活動に取り組むことを決意し、一昨年末、30年間勤めた農林水産省を地域整備課長を最後に退職しました。昨年1月には全国水土里ネット会長会議顧問を仰せつかり、この一年間、全国各地で地域の実情や意見をつぶさに拝聴させていただきました。これまでの移動距離は地球5周分の20万kmになりました。

昨年は、西日本豪雨や北海道胆振東部地震をはじめとする地震、台風、さらには噴火など、全国各地で自然災害が相次ぎました。被災された方々にお見舞いを申し上げるとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を願ってやみません。また、被災地の状況をお聞きするたびに、防災・減災対策は一刻の猶予も許されないとの思いを強くしています。

土地改良は、先人が創り上げてきた農地やかんがい排水施設などをそれぞれの時代に応じて整備を行い、次の世代に引き継いでいくシステムです。つまり、土地改良は、現在の農業の発展はもとより、日本の「未来への礎」を築くものであると考えています。

私は、現場でお聞きした様々な課題を解決し、日本のすばらしい農山漁村を「未来への礎」として、子どもや孫たちに引き継いでいくため、「大切な農地と水を守る」「農山漁村を災害から守る」「美しい農山漁村を守る」という3つの目標のもと、これを実現するため、土地改良の安定的な予算確保や災害に強い農山漁村づくりなど、7つのチャレンジに全力で取り組んでいく考えです。

とりわけ土地改良予算については、「闘う土地改良」の旗のもと、関係者の努力により回復基調にはありますが、地域の切実な要望に応えるためには、当初予算の回復・拡大が必要です。国政の場において、進藤金日子議員が「闘う土地改良」の先陣を担っておられますが、私もその一翼となれるよう、全身全霊をもって活動に打ち込んでいく考えです。そして、現場と国政の間を、私の好きなテニスのボールのように素早く往復し、現場の声を施策に反映していきたいと考えています。

今年には天皇陛下が御退位され、元号が変わる大きな節目の年です。新しい時代の始まりの年でもあり、土地改良にとっても大きく羽ばたく年にしなければなりません。皆様の土地改良に対する熱い思いと大きな力を、私、宮崎まさおに賜りますようお願いいたします。

むすびに、本年が皆様にとって実り多き年となりますように祈念いたしまして、私の新年のご挨拶といたします。

## 宮崎まさお7つのチャレンジ

1. 土地改良の安定的な予算確保にチャレンジ
2. 災害に強い農山漁村づくりにチャレンジ
3. 農地や水を守り育てる体制の強化にチャレンジ
4. 自然豊かな美しい農山漁村の継承にチャレンジ
5. 世界に日本の農林水産業と農山漁村のすばらしさの発信にチャレンジ
6. 女性の視点を大切にした農山漁村政策の展開にチャレンジ
7. 農林水産業と農山漁村への国民の理解づくりにチャレンジ

# 「農業農村整備の集い」開催される

～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～

水土里ネット千葉 総務部

平成30年11月14日、東京都千代田区の砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において「農業農村整備の集い」が開催されました。

大会には、多くの国会議員や土地改良関係者、また農林水産省からは吉川貴盛農林水産大臣、小里泰弘、高鳥修一両副大臣、濱村進、高野光二郎両大臣政務官をはじめ農村振興局幹部職員などが出席し、総勢1,300名の農業農村整備関係者が全国から参集しました。



▲二階俊博全土連会長の挨拶

この集いは、平成30年6月にも開催されましたが、全国の農業農村整備事業をとりまく情勢を共有した上で、一層の推進を図っていくことを目的に開催されたものです。

冒頭主催者挨拶で、二階俊博全土連会長は、「宮崎まさおさんが我々の代表として土地改良のために頑張っている。“闘う土地改良”として常に組織が一丸となり、みんなでバックアップしていくことが大事だ。本年度の予算についても補正予算を含め、大幅削減前を上回る水準を確保できた。全国の農家の皆さんに、我々は応えていかなければならない。」と力強く述べられ、土地改良関係者の更なる結束を訴えました。

来賓の祝辞では、吉川貴盛農林水産大臣が、「今後とも必要な予算の確保に全力で取り組んでいく。また、2年連続で土地改良法の改正を行った。複式簿記の導入などについて皆様の不安を払拭すべく万全を期していく。皆様には強い農業と美しく活力ある農村の実現に向け、より一層お力添えいただきたい。」と述べられました。

引き続き、進藤金日子参議院議員・都道府県土連会長会議顧問も祝辞の中で、「皆様方は各省庁に熱い要請活動を行っている。実現するために私も一緒になって頑張っていくことを誓う。」と力説されました。

その後、宮崎まさお都道府県土連会長会議顧問も情勢報告で「施設の老朽化、防災減災対策など農村の安全を守っていくためには土地改良の役割は非常に大きくなっている。これからも現場にお伺いして地域の声をしっかり聞いていく。」と報告があり、事例発表、要請文を満場一致で採択し、ガンパロウ三唱を一同で唱和し盛会のうちに集いを閉じました。



◀大勢の国会議員と参加者

「集い」に先立ち、国会議員に要請活動をされた本県土地改良区の代表者、また「集い」に参加いただいた土地改良区の皆様には大変お世話になりました。本誌面をお借りし厚くお礼申し上げます。



▲吉川貴盛農林水産大臣の祝辞



▲進藤金日子参議院議員の祝辞



▲宮崎まさお全土連会長会議顧問の情勢報告

# 農地中間管理機構関連農地整備事業 名木木戸地区の紹介について

夷隅農業事務所

## ■事業概要

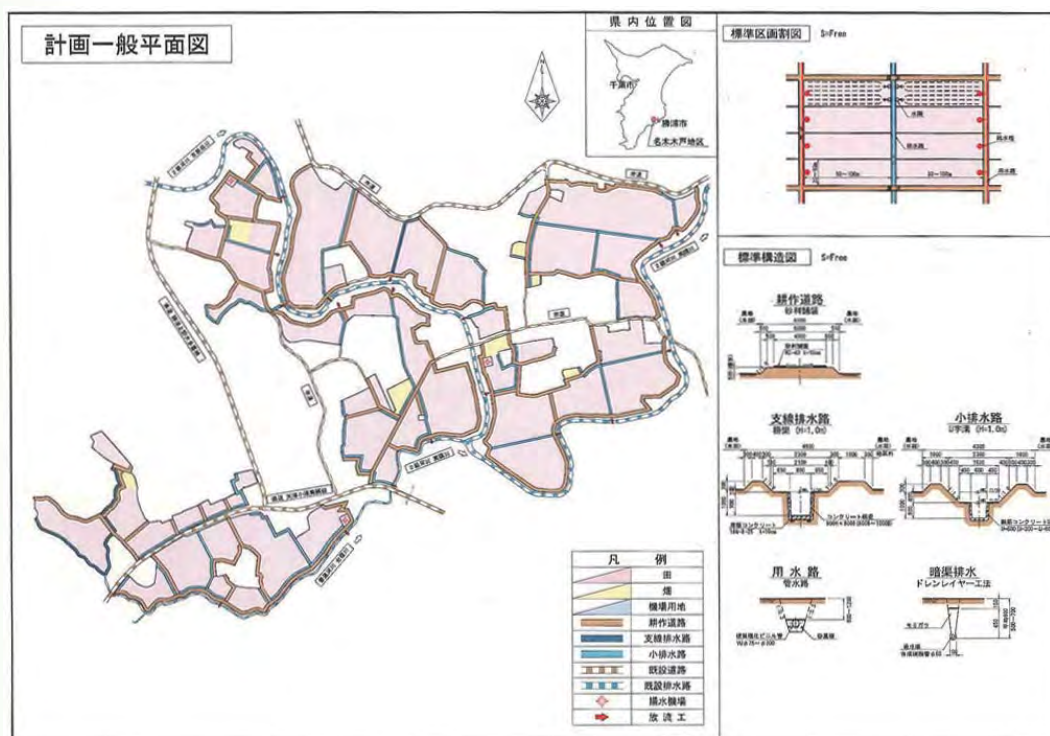
平成30年度に、関東農政局管内で唯一採択された、農地中間管理機構関連農地整備事業名木木戸地区について紹介いたします。

本地区は、勝浦市西部の二級河川夷隅川と二級河川古新田川に挟まれた中山間地域で、名木、木戸、西原地区にまたがり、対象面積は26.4haとなっております。

管理主体：勝浦市土地改良区

事業工期：平成30年度～平成35年度(予定)

事業内容	： 整地工	A=26.4 ha	用水路工	L = 6.48km
	： 排水路工	L = 4.68km	道路工	L = 7.76km
	： 暗渠排水工	A=25.7 ha		



## ■自然

勝浦市は、古くは桂浦、葛浦、勝占とも表記され、天然の良港すなわち「勝れた浦」に由来するとも言われています。そして、海や川、里山、田園風景などの美しい自然に包まれており、緑と水に恵まれた環境です。

名木木戸地区には、小川ではドジョウ、ヌカエビ、ゲンゴロウ等が生息し、豊かな里山の自然があふれる場所となっております。

本地区では、特にゲンゴロウに注目し、その生態系に配慮した護岸を行うことになっております。



## ■特徴 鳥獣害対策として

平成29年度勝浦市における有害鳥獣被害額は、約500万円もあり、本地区でも、営農上の大きな課題となっております。

獣害対策の基本として、防護、捕獲、追い払い、下草刈り等の環境整備を組み合わせた対策が重要であり、効果が高いことがわかっています。

そのため、本事業にて、農業生産基盤整備付帯事業として、防護柵の設置を取り入れ、物理的に獣害を受けないようにすることとともに、動物が好まない野菜も取り入れて栽培することにしました。

防護柵の設置等の対策をしない獣無対策栽培試験を行い、タマネギ、ニンニク、スナップエンドウ、ブロッコリー、食用なばなを栽培しました。



夜行性のキョンがナバナを食害



サルによる食害

その結果、タマネギとニンニクは獣害を受けにくいことが確認されました。

このことを受けて、営農組合は、獣が出やすいほ場では、タマネギの栽培に力を入れることになりました。

また、タマネギは、勝浦タンタン麺の食材として使われます。

勝浦タンタン麺は、平成27年に行われたB1グランプリで優勝し、全国的に知名度が高く、多くの観光客に、そして地元で食べられております。

名木木戸地区では、その地域で栽培された作物を、多くの皆さんに、食べてもらおうと考えています。

# 経営体育成基盤整備事業 加茂川中部地区の紹介について

安房農業事務所

加茂川中部地区は、千葉県の南東部にある鴨川市の中心部に位置し、二級河川加茂川の下流沿岸に展開する比較的平坦な水田地帯で、温暖な気候を生かした早場米の生産が盛んな地域です。

本地区周辺には東側の国道128号線を始め、北側に主要地方道千葉・鴨川線、中央部加茂川沿いには県道鴨川・保田線があり、アクセスが良い地理的条件を備えています。

しかしながら、農業基盤が未整備のため、労働生産性の低いことから後継者不足となり耕作放棄地の増加に拍車をかけてしまう状況でした。

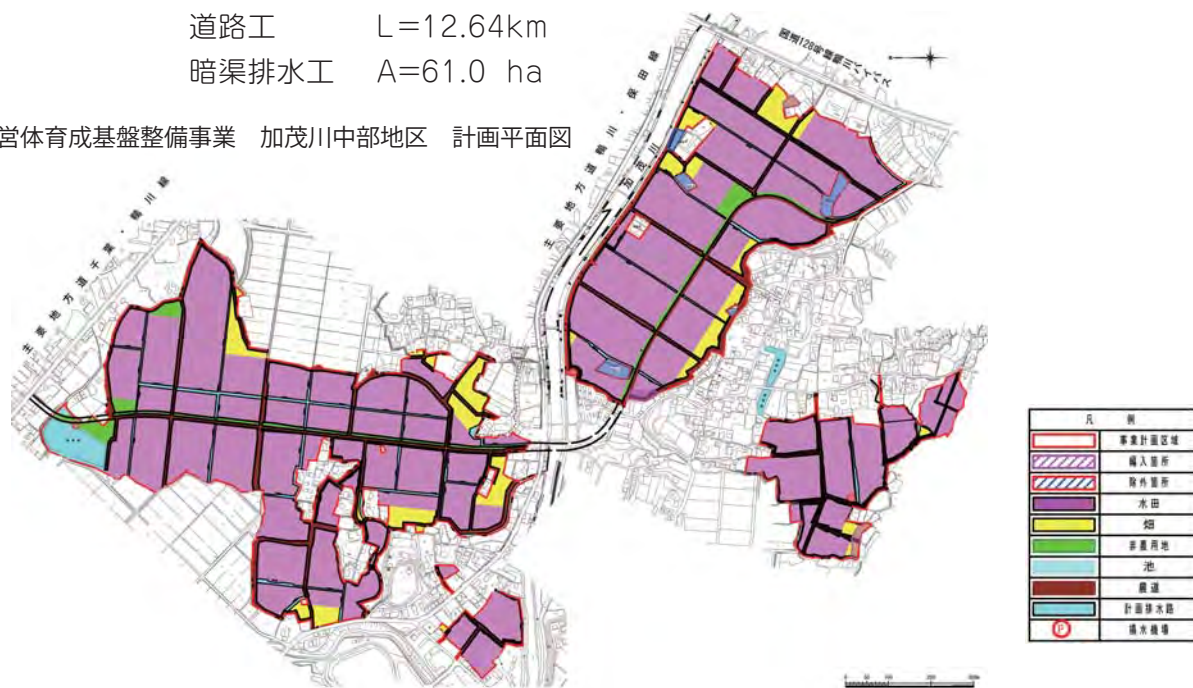
このような状況を解消するために、農業基盤の整備を行うとともに、耕作放棄地を解消し、大型機械の導入による効率的かつ安定的な農業経営の体質強化を図ることを目指し、平成24年度に着手されました。



千葉県内 位置図

- 管理主体 : 鴨川市加茂川沿岸土地改良区
- 事業工期 : 平成24年度～平成33年度(予定)
- 事業内容 : 整地工 A=66.3 ha
- 用水路工 L=11.48km
- 排水路工 L= 9.24km
- 道路工 L=12.64km
- 暗渠排水工 A=61.0 ha

経営体育成基盤整備事業 加茂川中部地区 計画平面図





### 【基盤整備前の状況】



### 【営農状況】



### 【耕作放棄地状況】



平成30年度から本格的に工事着手となり、本年度は約20haの区画整理をする予定です。  
平成30年11月12日に鴨川市加茂川沿岸土地改良区主催で工事の安全を祈願して起工式が開催されました。

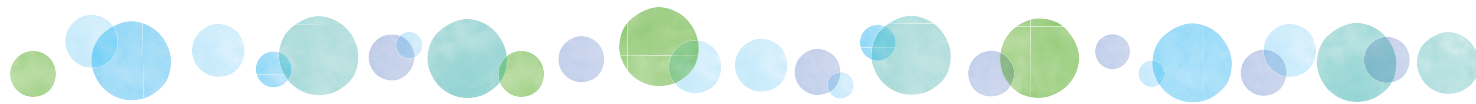
工事に先立ち式典には、地元代表者をはじめ県議会議員、鴨川市や県の関係者、請負業者など約40名が参加しました。

整備後は<sup>だい</sup>八<sup>ち</sup>営農組合、<sup>かい</sup>貝<sup>す</sup>渚<sup>か</sup>営農組合が担い手となり、大規模化された営農を行っていく予定です。

### 【起工式の様子】



### 【工事状況】



# 平成30年度新規着工地区紹介 農道整備事業(保全対策型)小櫃川地区

君津農業事務所

## 1. 始めに

本広域農道は、袖ヶ浦市と君津市を結ぶ基幹的な農道として「広域営農団地農道整備事業」により造成され、昭和60年から供用を開始しました。

しかし、平成5年頃から舗装のひび割れ、わだち掘れ等が生じ、輸送中の農産物の荷傷みが顕著に見られるようになり、袖ヶ浦市の一部区間(L=6.7km)では、「農道環境整備事業」により舗装改良工事を行いました。

その後、広域農道計画時の予想交通量を大幅に超え、舗装の劣化により安全な走行に支障が出てきています。

また、袖ヶ浦市地域防災計画で緊急輸送路として位置付けられていることから、防災ネットワーク上重要な路線であります。路線にある橋梁3橋(永地4号橋、上田橋、富岡大橋)は現行の耐震性能を満足していません。

このため、本事業により路面改修及び橋梁耐震補強を実施し、通行する農業車両や一般車両の安全を確保すること及び農業交通における作物輸送の効率化の機能回復を早急に図ることが必要となっています。



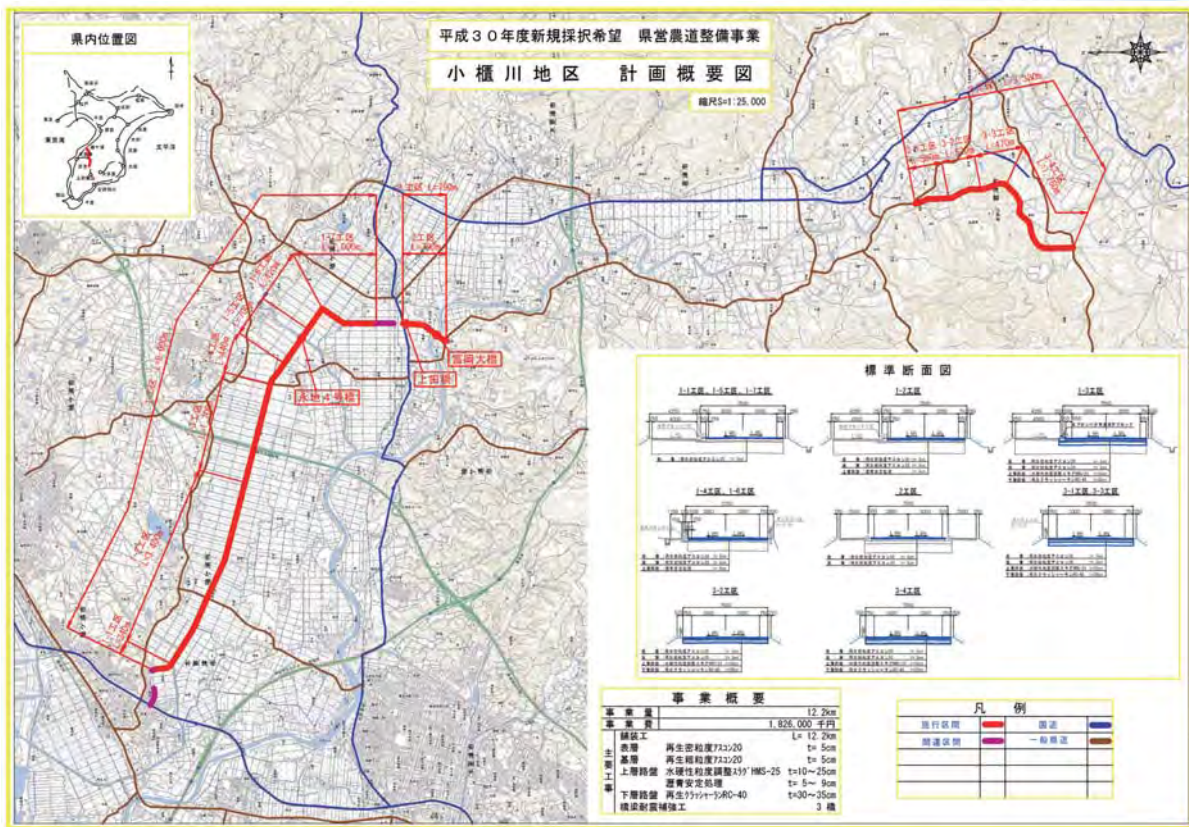
▲舗装の劣化状況写真

## 2. 事業概要

- 事業名：農道整備事業(保全対策型)
- 地区名：小櫃川地区
- 関係市町村：君津市、袖ヶ浦市
- 受益面積(ha)：5,202ha
- 工期：平成30年度～平成34年度
- 整備工種：舗装改修工 L=12.2km 橋梁耐震補強工 N=3橋
- 総事業費：1,826,000千円
- 負担割合：国(50%)、県(35%)、市(15%)
- 施工区間：以下図面及び写真参照



▲袖ヶ浦市区間 空撮写真



▲計画平面図

### 3. 本年度の取組み

平成28年度の計画一次審査、平成29年度の計画二次審査を経て、平成30年度新規採択事業としてスタートしました。

本年度は、3橋のうち富岡大橋と永地4号橋の耐震化改修実施設計業務と、袖ヶ浦市の1-3工区(1,700m)及び君津市の3-4工区(1,760m)の路線測量業務を発注し現在実施中です。



▲富岡大橋



▲永地4号橋

### 4. 来年度の取組み

本年度実施した富岡大橋と永地4号橋の耐震化改修の実施設計をもとに、耐震工事及び、上田橋の耐震化改修実施設計業務の実施を予定しています。また、路面改修についても、随時、測量・実施設計・土質試験等の実施を予定しています。

### 5. 終わりに

今後、できるだけ早く機能復旧を行い、農産物の輸送や一般交通の安全な走行を確保するために、関係市等と協力し円滑な事業実施に努めてまいります。

年男・年女あつまれ!



## 新元号へと猛進していく平成最後の「己亥」の本会職員を紹介します。

2019年は十二支の最後の「亥」で十干が己、十二支が亥という組み合わせで己亥となります。

十二支には、それぞれに季節が割り当てられていますが、亥の季節は冬で、春の芽吹きまで、じっと固い種の中でエネルギーを内にこめているのが特長です。まさに冬のイメージですね。

また、己の年は、完成した自己や成熟した組織が、足元を固めて、次の段階を目指す準備をする年であるといわれ、亥に木編を補うと「核」となり、内側の芯を意味するというのも、象徴的ですよね。

ちなみに「亥」は、猪肉の栄養価が高く病気予防になることから、無病息災の象徴ともいわれています。

また、風水でも猪は無病息災の象徴といわれ、目標に向かって猛進していく人を助ける

「火の神の化身」とされています。

### 事務局長 山崎 正仁(1959年生まれ)

新年明けましておめでとうございます。

今年1月で還暦を迎えまして、気がつけば5回目の年男に成りました。

この間、皆様のご指導を頂き支えられながら、何とか職務を全うすることができましたことを、厚く御礼申し上げます。今後は、健康に留意し、新たな気持ちで仕事に取り組んでまいりたいと考えております。

また、60歳は人生の通過点であり、自分の時間を楽しむゆとりを持ちつつ、我家は、土地持ち非農家の状態であることから、畑で野菜作り等に挑戦することと、長らくお預けにしていたゴルフを始めてみようと思います。

さて、この情報誌が発行される頃には、私たちが要望するNN予算が満足いくものとなり、土地改良に追い風が吹き、明るい未来が開けることを願ってやみません。皆様にとって今年が良い年でありますようにお祈りいたします。

### 技術部 牧野 廣行(1959年生まれ)

明けましておめでとうございます。私は、1月1日が誕生日で満60歳になり還暦を迎えることとなりました。そこで、恥ずかしながらあらためて還暦について調べたところ、十干(甲・乙・丙…)の10と十二支(子・丑・寅…)12の最小公倍数である60年が干支の一週りにあたるということです。

戦前までの平均寿命は50歳にも満たなかったことから長寿のお祝いで還暦のお祝いを行ったとのこと。まだ、60歳の実感はなく、体力的にも自信があるつもりです。

今後も、この体力を活かし頑張って参りますのでよろしくお祈りいたします。

皆様におかれまして、今年も良い年でありますようお祈り申し上げます。

### 管理指導部 岡寄 一雄(1959年生まれ)

昨年は、突発事故復旧に関する事業に始まり、土地改良法の一部改正による複式簿記導入や土地改良施設の資産評価など、国の新たな施策に煽られ続けた一年でした。ただ、千葉県では、大きな自然災害がなかったのでほっとしました。亥年は、大きな地震が多いといわれていますので、災害への備えを見直そうと思います。

今年は、5回目のいのしし年を迎えますので、国の施策を活かして猪突猛進することなく周囲の状況を冷静に判断して皆様の役に立てるような年にしていきたいです。

換地部 換地課

**小倉 秋紀**(1959年生まれ)

年男で還暦の年を迎えて、からだの故障箇所も増えたり常用のくすりの種類も同様に増えてきました。今後は、健康に留意して自分にできる新たなことを探しながら年を重ねていけたらと思っています。また、必要に応じて資格等も取得して行けたらとも考えております。でも、その前に今までなかなかできなかった両親の遺品の整理や、家の掃除と修理等、家の周りのこと、畑と田んぼのことも母親が亡くなり10年近くまともに管理できていないので、周囲の迷惑にならないようにしていかなければと思うこのごろです。

技術部 環境整備課

**糸日谷 隆**(1959年生まれ)

皆様、明けましておめでとうございます。私も今年で五度目の年男となってしまいました。イノシシは、わき目も触れずに猪突猛進で、目標に向かって行く本能的な動物です。ある意味目標に向かうと言う点では、良いと思いますが、動物の世界と人間の世界とでは、それで良いとは思えません。やはり自分一人では限界があります。問題が生じた場合、皆さんの意見・助言を参考にし、コミュニケーションを大切にもっともっと県土連の戦力的イノシシになるつもりでいます。また、土地改良は着実に前進しております。全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長も就任以来、「戦う土地改良」を掲げて参りました。私もこのことばどおり会員の土地改良区・市町村様、関係機関様と良い関係を築くと共に組織一丸となって、これからの土地改良を支えて行きたいと思っております。

どうぞ、本年も宜しく願い致します。

総務部 総務課

**長坂 崇巳**(1971年生まれ)

新年あけましておめでとうございます。

亥年の年男ということですが、人生において平均7回前後年男が来るうちの4回目を迎えることになり、人生の折り返し地点を過ぎているのだと改めて実感してしまいました。

本年は、改元、消費税増税など国民全体に影響する大きな出来事が予定されておりますが、個人的には、農地に被害を与えている猪のように周りの方にご迷惑をおかけしないよう「分別のある猪突猛進」で、心身共に健康に留意しつつ、一年間過ごしていきたいと思っております。

本年もよろしく願い致します。

換地部 換地課

**齋藤 兼吾**(1995年生まれ)

あけましておめでとうございます。年男ということで情報誌に掲載して頂くことになりました。

私の抱負は「一日一生」です。一日一生は、一日は一日の積み重ねが一生に繋がっていくという意味です。私は、毎日仕事をする中で、一日一日を大切にして仕事を頑張っていきますのでよろしくお願ひします。また、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。最後になりましたが皆様のご多幸をお祈り申し上げ、新年の抱負とさせていただきます。

管理指導部 水土里支援課

**後藤 沙希**(1995年生まれ)

新年あけましておめでとうございます。

私は今年で24歳になりますが、学生時代のようなフレッシュ感が無くなった(老けた)ことに実感があり、焦りを感じています…。エイジングケアは早いうちからすると良いそうなので、あの手この手を使おうと色々計画中です。

さて、水土里支援課に配属されてから、早くも1年が過ぎようとしています。尊敬する上司や先輩方に囲まれ、恵まれた環境で働けることにとってもありがたみを感じています。早く追いつこうと、帰宅後は資格の勉強に取り組んでいますが、睡眠に苦戦する日々です…。

今年の目標は、日々業務の効率を上げ、時間に余裕を持てるようにすることです。まだまだ覚えることは山ほどあるので、少しでも時間を有効に使えたらいいなと思っています。

仕事だけでなく健康、プライベートを両立し、社会人2年目も元気モリモリ頑張ります。

# 「明治150年記念植樹祭」に参加しました —緑の募金直接事業—

水土里ネット千葉 総務部

平成30年11月10日(土曜日)、鬼泪山きなだやま県営林(富津市)で「明治150年記念植樹祭」が開催されました。

この活動は、千葉県と(公社)千葉県緑化推進委員会の共催により開催されたもので、「未来へ緑を繋ぐ機会として、県営林を舞台とする植樹祭」として計画され、明治150年にあたる平成30年に実施されたものです。

参加者は、一般公募者、県民参加によるみどりの再生事業参加者、森林・林業・木材企業団体関係者、里山活動団体などで、当会からは、2名が参加し総勢約110名となりました。

当日は、薄曇りの中、9時30分の受付後、山の中腹まではバスで移動しましたが、そこから植栽場所(会場)まで県営林の説明を聞きながら徒歩での移動になりました。



会場では主催者の千葉県中部林業事務所の南山所長と来賓のあいさつのあと、植樹方法の説明を聞いて作業に入りました。

植樹は班単位で、予め割り当てられた0.6haのエリアごとに1班あたり25名程度で4班に分かれ、班毎に効率の良い手順を考え、リーダーの指示のもと作業が進められました。



植えられた苗は、スギ(花粉対策スギ)で、1,200本の苗を専用の植樹器具やシャベルを使って地面に穴を掘り、1つひとつ丁寧に植樹しました。

汗を流しながらの作業は想定より早く進み、予定していた解散時間よりも30分ほど早く終わることができました。

おわりに、森林を守り育てること、森林資源を循環利用することの大切さについて理解を深めることができました。

「明治150年記念植樹祭」開催のため準備・運営をしていただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

汗を流しながらの作業は想定より早く進み、予定していた解散時間よりも



※千葉県の県営林は、明治39年の日露戦争の戦勝を記念して鬼泪山きなだやま(富津市)と嶺岡みねおか(南房総市)に模範林を設定したのが始まりで、その後、100年を超える歳月をかけ、7,561haの広大な森林を管理するまでに至りました。水源のかん養や、山崩れ防止などの公益的な機能の維持増進のために、引き続き森林資源を守り育てていくことはもちろん、大きく育った森林を伐採して材木として利用し、跡地に新たな苗木を植え、再び森林を育てていくことにも取り組んでいるとのこと。



千葉県における平成29年度のイノシシによる農作物の被害金額は、約1億9千万円と農業経営に大きな打撃を与えています。イノシシ対策のため、定期的な刈払い等により農地の適正管理をお願いします。



耕作放棄地は、イノシシの格好の“棲み家”です。刈払いにより農地を適切に管理し、イノシシによる農業被害をなくしましょう!

千葉県

問い合わせ 千葉県 農地・農村振興課 TEL: 043 (223) 2785

# 第22回 千葉の水回廊ウォーク & 疏水百選 印旛沼ウォークのご案内

花見川-新川-印旛沼の水回廊は、「美しい日本の歩きたくなるみち500選」の道筋です。印旛沼は、私たちの生活や国土を潤す「みずのみち」として先人によって築かれたもので、日本の「疏水百選」に認定されました。この悠久の道につながる水辺、桜、花木、水田風景、野鳥の声など心地よい自然に触れながら歩きを楽しみましょう。

今回で22回目を迎える「千葉の水回廊ウォーク&疏水百選 印旛沼ウォーク」は、心地よい自然に触れながら歩きを楽しむことにより、参加者の心身の健康を増進するとともに食糧生産だけではなく、私たちの県土や環境の保全に重要な役割を果たしている疏水や農業・農村への理解を深めるために行っているもので、今回は200人を超える参加者がウォーキングを楽しまれました。

なお、詳細については、NPO法人ちば歩こう会に直接お問い合わせください。

**1 実施日** 平成31年4月6日(土曜日) 雨天決行

**2 歩行内容** (雨具、帽子、昼食、健康保険証などは各自ご持参ください。)

	30kmコース	20kmコース	10kmコース
集合場所	京成酒々井駅	JR佐倉駅	新検見川公園 (JR総武線 新検見川駅 徒歩2分)
集合時間	午前8時	午前9時	午前10時
ゴール	大和田機場 (京成大和田駅徒歩12分 京成勝田台駅徒歩15分) ◎受付は16時迄		
歩行方法	コース地図と矢印標識を見ながら各自のペースで歩く自由歩行です。		

★コースの概要については、別頁の地図を参照してください。歩行用のコース地図は当日配布します。

**3 参加費** 500円 (小学生以下無料) (コース地図、完歩証、傷害保険料、飲料水、農産物など)

**4 参加申込** 当日、各集合場所で受付します。

**5 免責範囲** 参加者は事前に健康診断等を受けて、万全の体調のもとに、参加してください。万一事故が発生した場合、主催者は保険による適用範囲以外の責任は負えません。

**6 問合せ先**

NPO法人ちば歩こう会	TEL 080-3156-7482 (担当 田口)
水土里ネット印旛沼	TEL 043-484-1155 (担当 岩本)
千葉県印旛農業事務所	TEL 043-483-1131 (担当 伊藤)
NPO法人美しい田園21	TEL 043-497-3962 (担当 金澤)



**第22回 千葉の水回廊ウォーク&疏水百選 印旛沼ウォーク**

1. 実施日：平成31年4月6日(土)
2. 距離：30km・20km・10km
3. 主催：NPO法人ちば歩こう会  
 後援：千葉県(独)水資源機構千葉水総合管理所、水土里ネット印旛沼、  
 印旛沼市土地改良協会、水土里ネット千葉、NPO法人美しい田園21  
 NPO法人ちば水土里支援パートナー
4. スタート：30km 京成酒々井駅  
 20km JR佐倉駅  
 10km 新検見川公園
5. ゴール：大和田機場

30kmコース  
 集合場所：京成酒々井駅

20kmコース  
 集合場所：JR佐倉駅

10kmコース  
 集合場所：新検見川公園

ゴール：大和田機場

# 謹賀新年

本年もより一層のご指導ご支援を  
賜りますようお願い申し上げます

千葉県土地改良事業団体連合会

会長

林

和雄

副会長

山田 一夫

副会長常務理事

鈴木 大作

外

役員 全員一同



水土里ネットちば 321号 (平成31年1月発行)



発行

水土里ネット千葉(千葉県土地改良事業団体連合会)  
〒261-0002 千葉市美浜区新港249番地5  
TEL.043-241-1711(代)/FAX.043-248-2563(代)

印刷

株式会社ニッセイアド  
〒264-0026 千葉市若葉区西都賀4-18-3  
TEL.043-206-7752/FAX.043-206-7753